

令和 4 年度 水道事業概況

人口減少や少子高齢化の影響による水需要の減少に伴い、有収水量及び給水収益は減少傾向が続いています。

また、令和 4 年台風 4 号による被害で増加した水量分の水道料金の減免、コロナ禍における物価高騰等の影響に係る水道料金の減免、令和 5 年 1 月寒波の影響で漏水し増加した水量分の水道料金の減免を実施したことも、給水収益の減収要因となっています。

国の補助事業を活用し、再構築事業計画に基づいた老朽施設の更新と管路の耐震化、機能の向上に引き続き取り組んでいます。

施設の老朽化に伴う延命配水池更新事業については、新配水池の建築工事が終了し、令和 4 年 12 月に通水を開始しており、引き続き、周辺の公園整備工事を進めていきます。

(1) 給水状況

令和 4 年度末	給水戸数	54,146 戸	給水人口	105,656 人
令和 3 年度比		96 戸		1,755 人の減

年間給水量	10,079,254 m ³	年間有収水量	10,076,483 m ³
令和 3 年度比	217,167 m ³		216,240 m ³ の減

(2) 財政状況

収益的収入総額 2,584,159,184 円

令和 3 年度比 38,292,867 円の減

(給水収益 2,155,831,341 円、令和 3 年度比 148,024,793 円の減)

収益的支出総額 2,267,257,678 円

令和 3 年度比 23,706,254 円の減 (人件費、委託料、企業債利息の減)

収支差額 316,901,506 円の純利益、平成 21 年度から 14 年連続の黒字決算